

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (いちご)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすい。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互いに関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

- ・12/1 苗植え (園内)
- ・1/3 1 収穫予定 (園内)
- ・2/4 いちごの食べ比べ(園内)
- ・2/14 いちご狩り体験(園内)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

いちごの苗、プランター、培養土、肥料、じょうろを準備し、園内の日当たりや風通しを考慮して設置した。また、子どもが安全に水やりや観察ができるよう、道具の大きさや重さに配慮し、活動しやすい環境を整えた。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・農家からいただいたいちごの苗を植える。
- ・毎日水やりを行い、成長を見守る。
- ・虫眼鏡などを使っていちごの成長を観察する。
- ・いちごを収穫する。
- ・自分たちで収穫したいちごと市販のいちご(赤いちご・白いちご)を食べ比べる。
- ・自分たちで育てたいちごと市販のいちごの違いを探す。
- ・いちご狩り体験を行い、親子で収穫を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

実が思うように育たない様子に、「どうして赤くならないの?」「葉っぱが元気じゃないね」など、子どもたちは変化に気づき、疑問や気持ちを言葉にしていた。実がならなかったことに残念さを感じる姿も見られたが、市販のいちごやいちご狩り体験を通して、「育てるのは大変なんだね」「農家さんすごいね」と、食べ物や作り手への関心を深めていった。保育者は、子どもの気づきやつぶやきを受け止めながら、「どうしたら元気に育つか」「育ててくれている人がいるんだね」などと声をかけ、子どもの考えが広がるよう関わった。また、うまくいかなかった経験も大切な体験として受け止めながら関わった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちといちごを育てる活動に取り組んだが、思うように実らず、育てることの難しさを実感した。その経験を通して、普段何気なく口にしている市販のいちごが、手間や工夫を重ねて育てられていることに触れる機会となった。

後日、いちご狩り体験にも参加し、実際に育ったいちごに触れて収穫する喜びを味わう中で、食べ物に親しみをもつ体験につながった。